

■性能一覧表

	表面処理	商品点数		幅 (cm)	長さ (m乱)	厚さ (mm)	重さ (g/m ²)	抗張力(N/3cm)		引裂強度(N)		破断伸度(%)		耐水度 (mm)	認定番号	
		色	柄					たて	よこ	たて	よこ	たて	よこ			
装飾テント	シャガール®アート	撥水加工	—	34	120	50	0.54	380	1290	858	76	45	56	41	1000	F-23005
	シャガール®	撥水加工	22	—	120	50	0.50	370	1176	735	68	39	44	22	1000	F-24004
	サハラ®CSソフテル®	撥水加工	8	—	103	50	0.41	300	833	784	49	49	20	22	1000	F-05039
	シャガール®ビュー	撥水加工	3	—	120	50	0.73	184	754	635	84	105	38	41	—	F-25010
	NEW クッキー®	—	8	—	200	50	0.47	314	1263	1465	347	337	22	24	—	F-25305
	アンサー®	—	6	—	180	50	0.79	554	1443	1470	187	239	25	18	—	F-25001
	ワンスイート®	フッ素樹脂コート加工	9	—	200	50	0.42	350	700	850	110	80	20	28	—	F-19085
	ラッシュ®(光触媒)	酸化チタンコート加工	2	—	94	50	0.45	460	755	1667	120	80	25	29	1000	F-23031
	ストライク®(不燃)	フッ素樹脂コート加工	16	—	102	50	0.42	570	2400	1800	90 (※)	80 (※)	4.2	3.8	2000	NM-3086 F-23018
	テイジン® テトロン®テント	フッ素樹脂コート加工	37	5	94	50	0.38	430	755	667	147	98	25	29	1500	F-52008
ニューバスティ®	フッ素樹脂コート加工	33	9	94	50	0.44	460	755	667	120	80	25	29	1500	F-58017	
透明テント	NEW シェルパ®クリア	フッ素樹脂コート加工	1	—	154	50	0.55	680	980	980	108	108	16	24	2000	F-01022 MMEM-9011 UW-9004
	ルミナカット®	フッ素樹脂コート加工(PVDF)	1	—	206	25	0.60	720	1177	1030	226	196	18	18	1500	F-23017
	アウトリア®TK15C	フッ素樹脂コート加工	1	—	104	50	0.73	860	1617	1470	177 (※)	177 (※)	19	25	2000	F-62016 MMEM-9011 UW-9004
	Tテックス II	フッ素樹脂コート加工	1	—	132	25	0.63	700	1127	1078	245	196	20	21	1500	F-07054
	サーニティ®W	フッ素樹脂コート加工	1	—	195	25	1.02	910	735	686	392	294	18	20	1500	F-07053
	サニーメイト®II	フッ素樹脂コート加工	1	—	185	25	0.71	720	637	628	128	147	24	27	1500	F-61018

●引裂強度：※マークはトラバゾイド法で測定、※無しはシングルタング法で測定。

●測定平均値であり、保証値ではありません。

⚠ 使用上の注意

1. ロットNO.による品質、出荷管理について

- ①テント生地(原反)には、ロットNO.がサイドラベル(片側)に記載されております。
- ②ロットNO.で品質、出荷管理をいたしておりますので、縫製された製品には製造番号を付し、これに使用したテント生地のロットNO.を必ず記録、保存してください。
※テント生地のロットNO.の記録がない場合、製品に問題が生じても膜材料の品質証明を行う事が困難になります。
- ③品質には万全を期しておりますが、万が一問題が生じましたら、ただちに当社までテント生地の品番とロットNO.を連絡してください。

2. テント生地使用上の注意

- ①表面に防汚加工を施しておりますので、折れシワ等が残りに残っております。
- ②ロールオーニング(可動式テント)等に使用される場合、濡れたまま放置されるとカビが発生する事がありますので十分に乾かしてご使用ください。
- ③コットン調生地(シャガール、シャガールアート、サハラ)は、風合いを重視している為、耐久性が劣りますので、諸条件により雨がもることがあります。大雨の場合は、可動式テントであれば閉じて収納してください。
- ④テント生地が汚れた場合は、ぬるま湯に中性洗剤を加え、柔らかい布もしくはスポンジ等で洗浄してください。半年に一度、テント生地を洗浄して頂ければ長くお使い頂けます。
- ⑤ライスター、パフ等の熱融着による接合の際は、臭気が発生しますので、必ず作業場を換気してください。

- ⑥高周波ウエルダーで溶着する際は、溶着部分に通電性を有する物質が付着していると、希にスパークを起こすことがありますので、ウエルダーバー及びテント生地の溶着部分に付着物の無い状態で溶着してください。
- ⑦防災加工品が必要な際は、(財)日本防災協会の試験に合格しているテント生地、もしくは防災製品認定を取得しているテント生地を使用してください。
- ⑧設計に当たっては性能一覧表の数値を参考にしてください。また、膜構造建築物には国土交通省にて登録されているテント生地(膜材料)をご使用ください。
- ⑨テント生地を安全に使用していただくためには、定期的に点検を実施してください。その際にテント生地の樹脂に亀裂が生じていたり、基布が見えたり、破れ等を発見した場合は、ただちにテント生地の補修または更新をしてください。
- ⑩生地表面には、方向性がありますので幅織りの場合は、一定方向に揃えてお取り付けください。
- ⑪生地には表・裏がありますので取り付けの際には、裏面が外側に出ないようにご注意ください。

3. 廃棄について

- テント生地及びテント生地縫製品を廃棄される際は、下記の方法で処理してください。
- ①廃棄物処理法、都道府県条例に従って処理してください。
 - ②認可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

4. テント生地の保管について

- 直射日光、高温多湿を避け室内で保管してください。

建築基準法第38条廃止に伴い、平成14年6月から認定方法が変更されました。

- MMEM-番号 (IBB種・C種認定) は建築基準法第37条第二号認定
- UR-番号は建築基準法施行令第109条の5第一号及び第二号認定 (飛び火性能)
(上記の弊社認定品は全てJIS A 1322の防災2級に合格しております。)

- UW-番号は建築基準法施行令第109条の5第一号認定 (飛び火性能)
- NM-番号は建築基準法第2条第九号及び同法施行令第108条の2認定 (不燃材料) となります。

■性能一覧表

中・大型テント	表面処理	商品点数		幅 (cm)	長さ (m乱)	厚さ (mm)	重さ (g/m ²)	抗張力(N/3cm)		引裂強度(N)		破断伸度(%)		耐水度 (mm)	認定番号
		色	柄					たて	よこ	たて	よこ	たて	よこ		
Dynastar B300 (光触媒・不燃材料)	酸化チタン コート加工	1	—	204	50	0.58	850	3300	2900	200 (※)	170 (※)	4.6	7.4	2000	MMEM-0033 NM-2577
Dynastar C200 (光触媒)	酸化チタン コート加工	1	—	204	50	0.68	820	2100	2000	285 (※)	285 (※)	19	26	2000	F-23049 MMEM-0039 DW-0109
F-キャンテント。 TH-1000A	フッ素樹脂 コート加工	2	—	103	50	0.59	690	2156	1960	294 (※)	226 (※)	22	28	2000	F-63026 MMEM-9010 MMEM-9012 (フットボール専用認定品) UW-9004
シェルパ®ジュニア TK08B	フッ素樹脂 コート加工	9	—	154	50	0.55	680	980	980	108 (※)	108 (※)	16	24	2000	F-01022 MMEM-9011 UW-9004
FG-8F (不燃材料)	フッ素樹脂 コート加工	11	—	104	50	0.57	840	3735	3154	182 (※)	173 (※)	4.9	7.4	2000	NM-0414 F-21126 MMEM-0009
FG-8F (不燃材料) 2000F (アイボリー)		1		204											

●引裂強度：※マークはトラペゾイド法で測定。

●測定平均値であり、保証値ではありません。

 使用上の注意

1. ロットNO.による品質、出荷管理について

- ①膜材料(原反)には、ロットNO.がサイドラベル(片側)に記載されております。
- ②ロットNO.で品質、出荷管理をいたしておりますので、縫製された製品には製造番号を付与し、これに使用した膜材料のロットNO.を必ず記録、保存してください。
※膜材料のロットNO.の記録がない場合、製品に問題が生じても膜材料の品質証明を行う事が困難になります。
- ③品質には万全を期しておりますが、万が一問題が生じましたら、ただちに当社まで膜材料の品番とロットNO.を連絡してください。

2. 膜材料使用上の注意

- ①ロールオーニング(可動式テント)等に使用される場合、濡れたままで放置されるとカビが発生する事がありますので十分に乾かしてご使用ください。
- ②ライスター、パフ等の熱融着による接合の際は、臭気が発生しますので、必ず作業場を換気してください。
- ③高周波ウエルダーで溶着する際は、溶着部分に通電性を有する物質が付着していると、希にスパークを起こすことがありますので、ウエルダーバー及び膜材料の溶着部分に付着物の無い状態で溶着してください。
- ④防災加工品が必要な際は、(財)日本防災協会の試験に合格している膜材料、もしくは防災製品認定を取得している膜材料を使用してください。
- ⑤設計に当たっては性能一覧表の数値を参考にしてください。また、膜構造建築物には国土交通省にて登録されている膜材料をご使用ください。
- ⑥膜材料を安全に使用していただくためには、定期的に点検を実施してください。その際に膜材料の樹脂に亀裂が生じていたり、基布が見えたり、破れ等を発見した場合は、ただちに膜材料の補修または更新をしてください。
- ⑦生地には、方向性がありますので幅継ぎの場合は、一定方向に揃えてお取り付けください。
- ⑧生地には表・裏がありますので取り付けの際には、裏面が外側に出ないようにご注意ください。

3. 廃棄について

膜材料及び膜材料縫製品を廃棄される際は、下記の方法で処理してください。

- ①廃棄物処理法、都道府県条例に従って処理してください。
- ②認可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

4. 膜材料の保管について

直射日光、高温多湿を避け室内で保管してください。

建築基準法第38条廃止に伴い、平成14年6月から認定方法が変更されました。

- MMEM-番号(旧B種・C種認定)は建築基準法第37条第二号認定
- UW-番号は建築基準法施行令第109条の5第一号認定(飛び火性能)
- UR-番号は建築基準法施行令第109条の5第一号及び第二号認定(飛び火性能)
- NM-番号は建築基準法第2条第九号及び同法施行令第108条の2認定(不燃材料)となります。(上記の弊社認定品は全てJIS A 1322の防災2級に合格しております。)